



前進

第12号

12月21日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎箏（こと）の演奏に感激しました。

12月9日（木）の2校時と4校時に、熊本県立劇場主催のアウトリーチ事業が本校で開催されました。その内容は、6年生対象に箏の演奏会を実施するものでした。演奏家の小路永和奈（しょうじながかずな）さんは、大きさや弦の数が異なる3種類の箏を持参して弾かれました。



静かに入場された後、弾き始められた曲がアニメ「鬼滅の刃」の主題歌で、勢いのある演奏に子供たちは身を乗り出すように聴き入りました。小人数を対象にした演奏会でしたので、小路永さんは子供たちに質問したり箏について詳しく説明されたりして、距離感の近さを感じました。演奏の素晴らしさはもちろんのこと、曲からイメージしたことを発表させるなど、音楽の楽しみ方も教えていただきました。

子供たちの感想では「大変感動しました。」「自分も楽器を演奏したくなりました。」などの意見が聞かれ、充実した時間となりました。

◎一緒に花を植えました。

12月8日（水）に、芦北支援学校佐敷分教室の生徒さんが来校され、たくさんの花の苗を植えていただきました。せっかくの機会でしたので、急遽5年1組の子供たちにも参加してもらい、植え方を優しく教えてもらいながら一緒に時間を過ごしました。



芦北支援学校佐敷分教室の生徒さんには夏にも花壇の手入れや苗植えをしていただき、秋の花壇は大変充実していました。今回もたくさんの苗を持参いただき、花壇に敷き詰めるように植えていただいています。厳しい冬をのり越えて、春にはきっと美しい花を咲かせてくれることでしょう。



◎ケーキ作りにチャレンジ

12月7日(火)には、4年生は芦北高校でケーキ作りに挑戦しました。水俣市のパティシエ笹原さんから説明を受けた後、グループに分かれて芦北高校の生徒さんからケーキ作りを教えてもらいました。

生クリームの泡立てからスポンジケーキへの塗り方、イチゴの並べ方、絞り袋での飾りつけなど、様々な工程を高校生のお兄さん、お姉さんに指導いただきながら、笑顔で楽しそうに行っていました。

この芦北高校にお招きいただいたのケーキ作りは数年来続いており、4年生が楽しみに

している取組の一つです。高校生の優しさを実感するとともに、職人さんの技術を目の当たりにすることで、キャリア教育としても有意義な時間となっています。



◎感謝の気持ちを花に込めて

12月14日(火)に、環境委員会の子供たちがパンジーを植えたプランターを芦北町総合コミュニティセンターと佐敷駅にお届けしました。日頃自分たちを見守っていただいている町民の皆さんに感謝の気持ちを届けたいとの思いから、多くの人が行き交う2カ所に花を飾らせていただこうと計画したものです。芦北町総合コミュニティセンターと佐敷駅に行かれる機会がありましたら、子供たちの気持ちが込められたパンジーを愛でただければと思います。



【校長室から】外部の関係機関と関わる教育活動も順調に行うことができ、充実した12月になりました。人権集会も低中高それぞれの学年部で行い、誰もが安心して生活できる学級や学校、そして社会にするにはどうしたらよいかを話し合いました。終業式では、自分たちが多くの人に支えられていることの再確認と、感謝の気持ちを持ち続けることの大切さを話そうと思います。令和4年が皆さんにとって素晴らしい1年になることを願っています。